川口町
公民館報
第105号
発行人 古田島 正
印刷所 山勝堂印刷所

町生産調整目標171トン
米の生産調整

最近、米は消費が減る一方生産が著しく増加しているため、恒常的な過剰状態にあることは周知のとおりです。

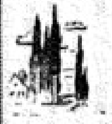
このような事態に対処して需給の均衡を図るために、農業者および関係団体等の協力を得て、作付転換、休耕等による米の生産調整の推進を図っていますが、当町においても幾段上かってない試練を迎えたわけで、過剰生産——食管制度堅持のためこれも余儀ないものとされています。

このことについては、去る二月二十四日付けで県知事より町米生産調整目標数量一七一トン(面積目標数量四一ヘクタール)の配分が示されたため、二月二十七日に町議員協議会を開催、翌二十八日には町農業団体代表により「生産調整推進協議会設置準備委員会」を開催し、町長より同趣旨の説明等が行なわれました。

続いて三月四日には、町議会代表をはじめ、農業団体代表三十三名による「町米生産調整推進協議会」が設置され、今後の推進対策について熱心な研究、討議が行なわれました。その結果、町推進対策として、つぎのような意見統一がなされ、関係者に特段の配意をねがうことになりました。

慎重に研究討議する協議会 (3月4日 町役場議場にて)

一、米の生産調整は、基本的には不本意であるが、現時点においては協力せざるを得ない。
二、各農家組合長を通じて転作、休耕の面積等を早急にとりまとめる。
三、食管制度堅持のため極力各位の理解と協力をねがいたい。



町の人口

(1月末)

世帯数	1.501(-3)
人口 男	3.481(0)
女	3.570(-18)
計	7.051(-18)

( )は1月末との比較

進学率やや上昇 時代を反映する就職
中学生卒業後の進路状況

「進学、就職」。なんとなくあわただしさを思わせる三月になった。

ことしの進路希望状況は別表のとおりで、進学希望者は昨年と比較してわずかながらも上昇をみせているが、これがへき地の木沢中学校であることは注目される。また、就職しながら進学する者も相当数あるため、実質的な進学率はもっと高いことが考えられる。

希望校別にみても、昨年にまして巾広くなり、訓練所や各種学校が目につく点も時代を反映している。

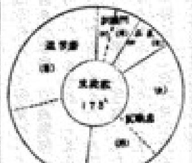
就職については、昨年みかった看護婦、自動車、電気関係が目立ち、ある程度の知識や技術を要求する高度化された産業界の様相が伺われる(第二表の数と、第一表の進学者数は、就職進学者のある関係から一致しない。)

第1表 学校別進路状況

校別	生徒数	進学者数	就職者数	県外	県内	訓練施設	在家
木沢中	11	6	2	(2)	(0)	0	3
田麦山中	41	14	23	(14)	(9)	1	3
川口中	126	68	38	(21)	(17)	13	7
合計	178	88	63	(37)	(26)	14	13
%	100	49.4	35.4	(58.7)	(41.3)	7.9	7.3

(就職先の%は就職者数に対してである)

進路希望分布



第2表 進学先別進学希望状況

全校	小千谷 普通	小千谷 商業	小千谷 定時制	小出 普通	小出 商業	小出 定時制	小千谷西 普通	小千谷西 家政	長岡工業	塩沢商工	十日町実	長商 全日制	長商 定時制	長岡高	中越高	長岡大手高	長岡商業	長岡女子高	長岡工専校	加茂農林
男	18	0	1	0	14	4	0	0	8	3	0	4	2	0	2	0	0	0	2	1
女	7	0	1	0	3	1	8	12	0	0	0	1	0	1	0	1	1	2	0	0
計	25	0	2	0	17	5	8	12	8	3	0	5	2	1	2	1	1	2	2	1

第3表 職種別希望状況

就職先	性別	事務員	看護婦	店員美容	交通運輸車掌	鉄工機械	電気自動車	縫製機織	建築工事	印刷	家政婦(お手伝)	合計
県内	男	0	0	0	0	3	6	0	2	0	0	11
	女	0	1	4	1	0	6	2	0	1	0	15
	計	0	1	4	1	3	12	2	2	1	0	25
県外	男	0	0	6	0	1	5	1	2	0	0	15
	女	0	2	5	0	0	2	12	0	0	1	22
	計	0	2	11	0	1	7	13	2	0	1	37

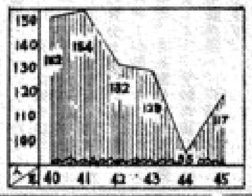
まちどおしい入学式
小学校入学者数きまる

まもなく四月。小学校へ入学する子どもたちの数はつぎのとおりです。(〇は昨年)

・泉木小学校 二五(二〇)
・和南津小学校 八(八)
・川口小学校 六一(四二)
・田麦山小学校 一〇(一四)
・木沢小学校 四(四)
・小高分校 六(三)
・山ノ相川小学校 三(四)

それぞれの家庭で、あるいは保育所で、かわいいチビッコ活動をしていた子どもたちが、「大きな帽子に大きな服に名札をつけて、重そうなランドセル」と、ユメをみている学校です。「交通戦争」とまでいわれるこのごろですが、かわいいユメを破らないよう町ぐるみで考えましょう。

最近の入学者数の推移



豊かな教養 豊かな知識を
成人適令者講座開設

新成人として、幸福な人生をつかむため、自主的に豊かな教養と知識を身につける一助にと願いをこめて、ささやかではありますが次のように成人適令者講座を開設していきます。多数受講しましょう。

講座開設計画

3月8日 川口中田中教頭先生
「上手な話し方、聞き方」挨拶、対話の話術、常識敬語のつけ方、言葉のつかい方。

3月15日 中越教育事務所 五十嵐社会教育課長
「恋愛観、結婚への自覚」

3月29日 法務局長岡支局長 町役場総務課長
「民法」親族、婚姻について。
「自治法、地方公共団体、選挙」

4月12日 魚沼病院山崎先生
「結婚と遺伝」

4月19日 町長、教育長 懇談会
「十年後の川口町の産業」「町長、教育長に望みたいこと」

4月26日 新潟大学教授浜谷武講演
「人間の本質、人間性の尊重、社会人としての権利義務」
個人の尊厳を理解する。信条、性別、社会的身分や門地等によって差別すべきではないこと。自由平等について考える。公共福祉のための権利と義務を行使して平和な国土建設に努めること

成人式は、四月二十九日。
午前八時より受付
午前九時 開式
川口町役場議場で挙行いたします。

議会だより
当初予算など審議はじまる

町議会三月定例会は三月十日に招集され、昭和四十五年度予算案など二十二の議案が提出された。

議会では、会期を二十八日までの十九日間ときめて、会期中の会期日程を定めた。第一日の十日は、町長の所信表明と各課長の議案説明が行なわれ、第二日の十三日には総括質疑をして委員会に付託した。

また昭和四十四年度補正予算案など、十一の議案が追加提出され、同日可決された。一般質問には七人の議員が立ち、町長の答弁を求めた。

会期日程
10日 本会議 所信表明 議案説明
13日 本会議 総括質疑 一般質問 委員会付託
16 17日 産業土木委員会
18 19日 社会文教委員会
23 24日 総務委員会
28日 委員長報告 採決 閉会

提出された新年度関係議案

◉条例関係
1. 議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
2. 非常勤特別職の報酬等に関する条例の一部改正
3. 町税条例の一部改正
4. 職員定数条例の一部改正及び制定(三件)
6. 福祉センターの設置及び管理に関する条例の制定
7. 清掃条例の一部改正
8. 消防団員に関する条例の一部改正
9. 公民館条例の一部改正
10 国民健康保険条例一部改正
11 水道条例の改正
12 農業共済条例の一部改正
13 町営住宅条例の一部改正

◉昭和四五年度当初予算
1. 一般会計
2. 国民健康保険特別会計
3. 簡易水道事業特別会計
4. ガス事業会計
5. 農業共済事業会計

◉その他の事件
1. 町指定金融機関の指定
2. 専決処分事項の承認

「ぼくたちの心を キズつけないで」
こんなにおおい歩道橋を渡らない人

「おじさん、歩道橋を渡りましょう。」「おばさん、あぶないから歩道橋を渡ってください」と、小さい小学生の呼びかけも聞かずさっさと下を通る大人たち。

これは一定の期間をもうけて川口小学校の児童をとおして、歩道橋を渡ろうとしない大人に対し呼びかけをしてもらったひとこまである。

知らないふりをして通る人がだんぜんおゝいが、中には「いらんこと心配するな」とか「大丈夫だ」といって素直に応じてくれない大人がおゝい。ひどいのは、「こらっ」とどなり、「うるさい」といい返す悪質な者もいたという。

こんな大人たちを子供達はどう見ただろうか。うちへ帰れば「いい子になれ」「勉強せよ」としつけをする親であり、大人であるが、ほんとに「いい子」になって、「勉強する子」になるだろうか。じっくり考えてみよう。

安全な施設としての歩道橋である。わが身を交通事故から守るために必ず渡ってもらいたいものだ。

交通事故〃。決してひとごとではないのである。

交通安全〃。みんなの願いなのである。(企画課)

堀りあてた水源
……西川口地区に待望の水道……

新年度から二ヶ年計画で、西川口地区に簡易水道が布設される。

町内で簡易水道が布設されていない地区は西川口と木沢・峠地区で、ほかはすでに十数年前から布設されている。

約二百七十戸の西川口地区でも、十数年前から強く要望されていたが、適当な水源がみつからず現在まで実現しなかった。

そこで、町では、昨年一年かけて水源探さくをした結果ガス事業所の近くに推定使用量の三倍もある豊富な水源を掘り当てた。

県に依頼した水質検査の結果、各種の試験に合格、大変良質と折紙がついた。

地区民の加入希望も九四%と前例にない高率であるため現在事務当局では認可設計作業を大馬力ですすめている。

事業内容は、ガス事業所の近くに、井戸を掘り、この伏流水を旧西川口小学校山の上まで送水、ここに十二時間分の給水量が貯蔵できる配水池を築造、圧力タンクで加圧して西川口全域に配水する。

このほか、消防団が指定した箇所にそれぞれ消火栓を設置する。

工事は補助金が二ヶ年にまたがるので、二ヶ年継続事業とし、本年九月頃着工、来年六月竣工する予定。

総工費(概算)は四千四百万円。うち特定財源(予定)は補助が千四百万円、起債二千万円、その他三百万となっている。

水量豊富な水源地現場

晴天に恵まれ 大活躍
—町民スキー大会—

去る二月二十二日、中山スキー場で開催された町民スキー大会は、例年にない参加者を得て好記録が続出、計画されているスキー場建設への足がかりとして大きな成果を上げた。

参加者は、小学生四六名、中学生三八名、高校、一般三四名、計一一八名にのぼった。

各種目優勝者は次のとおり

・滑降 小五十嵐栄(川小)中笹崎繁喜(田中)少北村秀夫 成古田島節夫(中山)壮山下克利(川中)
・回転 小山田信行(泉小)中笹崎繁喜 少古田島宏明(中山)成古田島節夫 壮山下克利
・総合 小丸山稔(泉小)中笹崎繁喜 少北村秀夫 成古田島節夫 壮山下克利
・職場対抗 農協チーム

猛烈にして高度な技術(回転)

正々堂々と……(開会式)

『ウリーイ風船がにげちゃった』(レクリエーション)

職場対抗優勝の瞬間(農協)

二十五年目に 戦病死と認定

軍隊在隊中の病気がもとで戦後死亡、内地勤務だけのため、戦病死とならず、現在まで何ももらえなかった人が、こんど戦病死と認定され、遺族に(阿閉貞在)弔慰金や扶助料が支給されることになった人がある。

この人は、野田の古田島審之丞さんの長男常雄さんで、昭和十三年現役兵として高田歩兵連隊に入隊。五年間内地で新兵教育にあたり陸軍軍曹までなったが、不幸にして病気にかかり除隊。これがもとで終戦後死亡した。

このような場合は、除隊後六年以内でなければ戦病死とみなされなかったが、先年の法改正でこの制限期間が撤廃されたもの。

活躍する交通指導員

他町村に先がけて、昭和四十二年九月交通指導員を配置した。

激増する交通事故を何んとか減らそうと昼も夜も定期の街頭指導、事故に伴う救急作業に取り組んでいる。

この人達だけの活躍だけでは事故はへらないのである。町民のひとりひとりが交通安全対策の実践者にならなければいけないと思う。

ここに交通指導員の日記の一部を紹介してみなさんからのご協力をお願いしたいものである。(企画課)

交通指導員
小林 馨
古田島友次郎
生越 千里
大久保栄作
渡辺 健一
金子 眞(役場)

交通指導員になって

生越千里

「××で交通事故です」の通報で現場へかけつける。時計を見ると午前一時、深夜の交通事故である。

肌をさす寒気、もちろん家々の灯は消えてねむっている。路上では、スピードの出しすぎか、真新しい乗用車が無惨につぶされ、血だらけになって、あっちに一人、こっちに一人と転がっている。「大丈夫か?」とゆすっても反応もない。救急車にのせ小千谷へ走る。サイレンの音が心地よい夢路をかき消すように、あたりにひびく。病院からまた現場へひき返し、警察官の指示によって配置につく。事故車の警備、交通整理と時間のたつのも忘れてしまう。

「いやあ、ごくろうさんでした」と警察官の言葉で疲かれも寒さもふきとんでしまう。帰路につく頃は東の空が白みがかってくる。

こんなことが何回あったろうか。いやこれからも何度かあるだろうが、みんなから注意してほしいと、このことが頭からはなれない。祈りにも似た気持ちである。

三年前、私達は交通指導員に任命された。県内では条例規則によるこの制度はまだ数が少ないのである。しかも救急車兼交通指導車も配置されている。この恵まれた条件の中で町の交通安全のために仕事が出来る誇りと歓びは何物にも代え難いと思っている。

「物好きだから」と心ない人達の話題にもなったが、屈せずのり越えてきたつもりである。警察のご指導とみなさんの協力でここまで来た。これからも期待される交通指導員像をめざしがんばりたいと思っている。

人ごとでない「献血」

思いがけない怪我、予期しない急病、早速診断を受けて入院、時をおかず手術を……こんなときは必ず輸血が必要となり、病院等から生血を準備するように言われ、病人と同じ型の血液の人を探し求めることがよくあります。時には頼む人も見つからず役場へ相談にこられる方も段々多くなっています。

こんなときに「献血手帳」があれば、保存血の引きかえの権利がありとても便利です。

町では次のように皆さんのご協力により献血を実施するよう計画しましたので、予知できない「明日」のわが身のためにも、ぜひ献血に参加して一人一冊「献血手帳」を準備してください。

1. 献血実施日 四月二十九日
2. 場所と時間 四月中旬にきめます。
3. 献血を願う人 満17才〜60才の男女
4. 申込方法 四月上旬頃申込書を配布 通路長か役場へ
5. その他 献血をされた方には「献血手帳」が交付され記念バッチを贈ります。

火災、洪水に注意を

町ではこゝ数年間毎年のように春になると火災が発生しております。

気温の上昇やなれにより、コタツ、ストーブなど暖房器具のとり扱いの不注意と春は空気が乾燥し、気象条件も火災が発生しやすいためですが火災が発生した場合火元の家だけでなく、近所の人にも多大の損害や迷惑をかけますから、火の元には十分注意してください。

また春は、雪どけによる出水の時期でもあります。暖かい日が続いた後は、必ず洪水になります。春先の洪水は水辺の雪が崩れやすく、地肌が見えず地面は大量の水分を含んで弱くなっており危険ですから事故のないようにしましょう。(川口町消防団)

交通事故相談 企画課内

交通事故をおこしたばあいに、どんな損害賠償になるのか、過失相殺はどのようにしたらよいのか、加害者、被害者にとっても、これがいちばんの問題になります。

これらのことについて、正しい知識のもとに話し合いをすゝめ、円満な解決をしていただくために企画課内に交通相談所を設けました。

ご希望の方は、利用してください。

自衛官を 募集しています

防衛庁では只今自衛官を募集しています。自衛官を一生の職業としたい人。技術を身につけ、良い就職を望む人。スポーツ等自分の心身を鍛えたい人。貯金をし、自営のための資金を得たい人。若いエネルギーが思いきり生かせる自衛官。さあ胸をはって志願しましょう。受験希望の方は役場総務課へ。詳細に説明いたします。

税務の窓から
軽自動車の届出は

いつもこの紙面をかりてお願いしているのですが、軽自動車を売ったり、廃車したりまたは取り替えたりした場合の届け出について、バイクの百二十五CCと耕耘機は直接役場に届けますが、その他の車は県陸運事務所を経由しなければならないため自動車屋かセールスマンがかわって申告しているのですが、この場合業者は修理のうえ中古車として次の買手をさがすためどうしても届けがおくれてしまいます。

ご承知のように、軽自動車税は四月一日現在の役場帳簿上の所有者に賦課することになっていますから、三月三十一日までに県陸運事務所から通知のないものは、一年分の税金を納めなければなりません。

昨年中か今年の三月までに車を譲ったり売ったりした方はもう一回役場の帳簿をたしかめてください。税金の令書をうけてから「車がないので納められない」などと云われても、役場に通知や届け出のないものは絶対にお引きすることは出来ないことになっています。

後日、陸運事務所から正式の通知があった場合は、その翌月から月割計算で税金をお返しいたしますが、一応全額納めていただくことになります。今のうちにもう一度ぜひたしかめてください。

第23回 全国商工会珠算検定合格者

日時 44年11月16日 会場 川口中学校

三級合格者 古田島裕子 大渕和子
五級 小山貞子 覚張知子 関百合子 桜井悦子 大渕馨夫 笹崎久吉
六級 駒形晃 小林富子 覚張明美 森山好子 桜井美智子
七級 宮壽美子 中林裕子 佐藤美千子
八級 渡辺謙一 小宮山修 山吉正祥 星野均 小山吉枝 井浦君枝 桜井浩美 小林多美子

三月四月の 行事板

3・12 明かるい村づくり学級研修視察(湯之谷山菜工場、老人ホーム)
14 管内中学校卒業式
17 山の相川小、中(分)卒業式
18、25 赤ちゃんまつり第一次検診
20 三才児検診
21〜(4)20 新入学児童、園児交通事故防止運動
㊗ 春分の日
25 管内小学校卒業式
31〜(4)2 県知事選名簿縦覧
4・1 県知事選告示
4 管内小学校入学式
6〜15 春の交通安全運動
10〜16 日本脳炎予防接種
22・23 生ポリオの経口投与
26 県知事選挙投票日
㊗ 天皇誕生日 町成人式
30 献血
(末) 畜犬登録
(々) 軽自動車税納付

交通事故調

	件数	死亡	傷害	物損
1月〜2月	24	0	4	20
1月から	24	0	4	20
昨年同期	19	0	14	